

# 海水浴と潮干狩

## ◆千葉の海水浴

千葉周辺の海岸はいずれも遠浅で、古くは「袖ヶ浦」と呼ばれる名勝地のひとつでした。満潮時には海水浴、干潮時には潮干狩りが楽しめたといわれています。明治27年（1892）に千葉～両国間に総武鉄道が開通し、大正10年（1921）に京成電気軌道が千葉～東京押上間に京成電鉄を開通させるなど、その地理的簡便さも手伝って、東京の保養地的役割を果たしていました。

## ◆稲毛海岸と海気館

稲毛海岸は千葉県で初めて海水浴場ができた所で、一大避暑地として森鷗外や島崎藤村など、多くの文人墨客も訪れています。この稲毛海岸の海水浴場は海気館と共にできたといわれています。海気館は明治21年（1888）当初医学士濱野昇によって「稲毛海気療養所」として設立されました。利用者のための規約によれば、その施設は海水温浴場、海水冷浴場、海水灌漑場、遊技場、運動場などを整え、救急に備え医者が1名常駐するなどかなり充実したものでした。そもそも海水浴は当初、諸疾病に対する治療法として提唱されており、それに応じた施設であったといえます。

『千葉繁昌記』によれば海気館の設立は明治21年（1888）とされています。軍医総監松本順が大磯に日本初の海水浴場を設立したのが明治18年（1885）の事ですから、それから程なくして稲毛にも作られたということになります。海気館は後に千葉町吾妻町の加納屋の所有となり、各種の宴会などに用いられるなど、旅館の色彩が強いものへと変わっていきました。

海気館の地続きに、東京浅草の「神谷バー」で有名なワイン王神谷伝兵衛の別荘がありました。初代神谷伝兵衛は大正6年（1917）病気を患い、静養が必要であったことから、別荘の建設に着手しています。鉄筋コンクリート造りの洋館は、当時としては非常に珍しいものでした。現在、国登録文化財に指定され、内部を見学できるようになっています。

## ◆潮干狩

遠浅の海は干潮時には干潟が出現し、アサリ、ハマグリなど貝類採集の好適地でした。葛飾北斎の富嶽三十六景のうち「登戸浦」にも、熊手を手に貝をとる女性の姿が描かれています。明治の中頃から干潟では貝類の養殖が始められるようになり、地元民のみならず潮干狩りの客に供されてにぎわいを見せました。

千葉の名勝だった遠浅の海は昭和35年（1960）からの海岸埋め立てですべて失われてしまいました。しかしその後、昔の海岸を懐かしむ声が多く、昭和55年稲毛海岸の埋め立て地先海面に人工の海浜が造成されました。昔の風景と比較にはなりませんが、再び海水浴や潮干狩りが楽しめるようになっています。

観光パンフレット「千葉市案内」

（昭和4年頃）より抜粋

【海水浴客接待】避暑海水浴の為め来遊せらるゝものに対し千葉、本千葉両駅及び京成電車千葉停留場に無料案内所を設けまた海岸には同様脱衣場を設けて来遊の便を図れり。

【海水浴場】本千葉海岸及び千葉海岸の両所あり、本千葉海岸は本千葉駅より十丁、千葉海岸は千葉海岸電車停留場より三丁、何れも袖ヶ浦に臨み沿岸は清蓮遠浅にして水面恰も鏡の如く毫も危険のおそれなく老若男女万人向の好海水浴場なり、海岸には市営脱衣場を初め掛茶屋数十軒ありて挙つて設備の充実に浴客の待遇に懇切至らざるなし、湾内遥に房総連山及び富嶽を眺めつゝ、去来の白帆を送迎し澆刺たる魚蟹を味わいつゝ万斛の海風を浴び全く三伏の暑さを忘るゝは当海水浴場の特徴なり加ふるに東京より汽車及び電車至便にして一日の行楽に最も佳なり。

（中略）

【貝類採集の楽しみ】海水浴場の全面一帯数万町歩は千葉市漁業組合経営の貝類養殖場なれば無断採集するを得ざれども当組合よりあさり袋網を購入せば自由に採集し得るといふ娯楽あり其袋網代左の如し。あさり袋網一ヶ十二銭、百ヶ以上一ヶに付十銭（後略）